

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	2	・少人数で分けて、学習や活動に参加しやすくしている。 ・教室が狭いと思う事と、個人訓練の時は他のクラスと声掛けして使うようにしている。 ・活動内容や来所時間が大きく異なる場合は、分けて配置したり、別室を利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			・人員配置は多いと感じる事もあるが、事務処理で抜けたり、個別を行うなどしている。少ないと感じることはない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			・事業所を新築したことによって、設備はしっかり整った。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	4	1	・人事評価(Do-CAP)を取り入れることで、自分の目標や担当業務についての見直しを行うことが出来る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3		・保護者向けアンケートを実施し、保護者の意向確認は出来ている。 ・保護者へ公表、周知(お便りにて知らせる)に努めているが、把握されていないこともあるため、改善が難しい部分もある。しっかり、周知できるように努めなければならない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	5	1	・ホームページで公表している。また、事業所説明会の資料にもアンケート結果を載せて、全利用者(保護者)に配布して公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	2	・第三者評価を実施するはずだった年に熊本地震があり、そのまま外部評価が出来ていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・菊池圏域事業所スキルアップ研修を始め、様々な研修の情報に関しては、正職員・非常勤職員関係なく、全職員に知らせている。 ・週末の研修でも、費用負担があるような研修の場合には、事業所負担で参加させて頂き、研修に多く参加できるようになっている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・個別支援計画を作成する前には、ニーズ整理表を保護者に配布し、現状やニーズを把握した上で個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		・事業所にて作成したアセスメントシートと熊本県が作成している「サポートファイル」の両方を活用してアセスメントするようにしている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		1	・皆で意見を出し合って作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・今まで行った活動プログラムも参考にしながら、組み込んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		・前もって一日の流れがスムーズにいくよう、スケジュールを立てるようにしている。 ・長期休暇では、平日取り組めない活動を入れるようにしているが、きめ細やかかと言われれば、どちらとも言えない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・子どもの調子によって、部屋を代えて個別のやり取りをする時間を作っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・細かい役割までを話し合うことが出来ない時があったが、その場で声を掛け合うようにした。 ・前日の様子を振り返ったり、個別支援計画に沿った目標を設定し、打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		・その日、もしくは翌日に行うようにしている。 ・放デイは、夕方までの営業のため、当日に全ての振り返りを行うことは難しい。翌日に振り返りをしたり、当日の打ち合わせ時に、前回の振り返りを踏まえて、当日の支援に繋げるように工夫している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		・その日ごとに子どもの個別の狙いを書くことで、全体が焦点をあてて記録できた。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		・個別支援会議を実施し、中間評価表を作成した後に、サービス計画の見直しを実施している。課題によっては、継続支援のものもあるが、課題をクリアしたものに関しては変更している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・子どもの担当者が中心となって、職員全体で最近の情報など話し合いをした上で、参加する様にしている。 ・担当者を中心に参加している。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に送り出して下さる先生(学校)と情報共有をするようにしている。 ・毎年、4月に学校に対して、利用児童一覧(週間予定)をお渡しすることで、学校側での利用児童の把握をしていただけるように努めている。 ・学校側からも時間割りBOXを学校の玄関に設置して頂いたり、時間割りをFAXして下さる学校もある。確認できない場合には、学校に電話して、必ず時間割り(下校時刻)の確認をするようにしている。 ・月のお便りをお渡しし、不明なことは連絡を取るようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけの病院は把握していても、連絡体制は整っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・児発から来ている子は、当時の様子などをスタッフに尋ねて、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所が担当者会議(申し送り)の場を設定して下さるため、情報提供書を作成し、保護者に確認・同意を頂いた上で、情報提供するようにしている。 ・私が勤務してから、障害福祉サービス事業所へ移行した例はないが、必要に応じて情報提供は行っている。(学校等へ)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県こども総合療育センターから定期支援を受けて、助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の自立支援協議会(子ども部会)は規模が大きくなった為、各市町村で子ども部会(大津町支部会)を発足し、積極的な話し合いを行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・直接会えなかった保護者については、気になったこと等があった際に、電話をして状況を伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な、家族勉強会や家族座談会の機会を設けている。 ・大津町子どもの発達セミナーに事業所の職員が講師として参加し、保護者や地域の方に対して支援を行っている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		・自分の説明が不十分だと感じた時には、もう一度確認をした上で、さらに詳しく伝えるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		・その場で返答するのではなく、一度持ち帰って話し合いをした上で、保護者にお話する様にしている。 ・すぐに答えられることに関してはお話ししているが、難しい内容については、個人の主観で答えずに、上司に報告したり、チームで相談した上で返答するようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	1	・定期的な家族座談会や家族勉強会を実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		・上司に報告・連絡・相談を速やかに行うよう心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		・毎月、事業所からのお便りを発行し、活動プログラムの予告(何をするのか、ねらいはどこにあるのかなど)や活動報告(写真掲載)にて、情報を発信する様にしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			・十分注意するよう徹底した。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		・その日、気になった行動だけでなく、子どもが頑張ったこと、楽しそうな表情であったこともお伝えしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	1	・秋祭りを実施して、利用児童だけでなく、地域住民の方も参加され交流する機会を設けている。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	7		・職員には周知してあるが、保護者に対しては出来ていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2		・定期的な避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	1	・研修を受けた職員より、現場へフィードバックしてもらい、情報共有を行っている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	5		・利用契約時に身体拘束(車いす利用者の安全ベルトや道路飛び出し時の制止、自傷・他傷を制止の場合など)の説明は行っているが、該当児童がいないため、個別支援計画に記載はしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		・アレルギー調査を契約時に行い、給食やおやつ時には、アレルギー対応をしている。 ・医師の指示書までを持っている児童はいないが、アレルギー食物などは把握して、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	5	1	・危うくヒヤリハットとなるようなことがあった場合、次回からの対策を踏まえて共有している。 ・クラスでの情報共有は行っているが、事例集として事業所内での共有は出来ていない。
計			239	86	19	

69% 25% 6%

平成30年度放課後等デイサービスおひさま 自己評価結果

